

HP Operations Orchestration 10.x

Windows および Linux オペレーティングシステム

OO Business Applications コンテンツパックバージョン 1.2.0

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2014 年 11 月
ソフトウェアリリース日: 2014 年 11 月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によるのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™ は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインターフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

謝辞

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。**<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>**

または、HP Passport のログインページの [**New users - please register**] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

<http://www.hp.com/go/hpsoftwaresupport>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

ご注意	2
保証	2
権利の制限	2
著作権について	2
商標について	2
謝辞	2
ドキュメントの更新情報	3
サポート	4
概要	6
コンテンツパックの統合	6
新機能	6
サポートされているバージョン	7
機能拡張	7
Business Applications コンテンツパックのデプロイ 1.2.0	8
既知の問題	9

概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration Business Applications コンテンツパック 1.2.0 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれていません。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- fr - フランス語
- de - ドイツ語
- ja - 日本語
- es - スペイン語
- zh_CN - 簡体字中国語

Business Applications コンテンツパック 1.2.0 は累積的なコンテンツパックです。

コンテンツパックの統合

次の表に、Business Applications コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合	バージョン
Exchange	Exchange 2000 Exchange 2003 (クラスターまたは非クラスター) Exchange 2007 (クラスターまたは非クラスター) Exchange 2010 Exchange 2013

新機能

Microsoft Exchange サーバーとやり取りするときは、「/Library/Operations/Exchange/<バージョン固有>」フォルダーの下に一般的な「Powershell」オペレーションを使用します (この「Powershell Script」オペレーションに Exchange スナップインをロードするものではありません)。詳細については、<http://www.get-exchange.info/2012/12/30/powershell-scripting-for-exchange-server-some-tips/> を参照してください。

サポートされているバージョン

次の統合バージョンのサポートが追加されました。

- Microsoft Exchange 2013

機能拡張

Exchange 2013

- 既存のフローおよびオペレーションが、Exchange 2013 をサポートするように機能拡張されました。
- **2013** (Exchange 2013 を表す) が、フローおよびオペレーションの version 入力の有効な値として認識されるようになりました。
- フォルダー「**Exchange 2010**」の名前が「**Exchange 2010 and 2013**」に変更されました。
- オペレーション「**Run Exchange 2010 cmdlets**」の名前が「**Run Exchange 2010 and 2013 cmdlets**」に変更されました。
- フロー「**Test Owa Connectivity**」および「**Test System Health**」は Exchange 2013 をサポートしていません。そのため、新しい2つのフロー（「/Library/Operations/Exchange/Exchange 2010 and 2013/Test Exchange/」の下に「**Get Health Report**」および「**Get Server Health**」）が作成されました。

Exchange 2013 の診断情報を取得するには、Exchange 2013 だけで動作するこれらのフローを使用してください。

Business Applications コンテンツパックのデプロイ

1.2.0

OO プラットフォームバージョン 10.00 以降が、Business Applications コンテンツパック 1.2.0 をサポートしています。ただし、Business Applications コンテンツパック 1.2.0 は、既存の OO プラットフォームバージョン 10.10 またはそれ以降にデプロイすることを推奨します。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

注: コンテンツパックのアンインストール/ロールバックの方法については、『HP OO Central ユーザーガイド』の「前回のデプロイメントへのロールバック」を参照してください。

既知の問題

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

「Test Exchange」フォルダーのフローが、予期したとおりに動作しないことがある

Microsoft Exchange 2013 のリリースバージョン (RTM、SP1、累積的な更新プログラム 6 など) によっては、オペレーションおよびフローのターゲットホストである Exchange 2013 サーバーにインストールされている役割が 1 つだけ (クライアントアクセスまたはメールボックスのどちらか 1 つ) の場合に、一部の API 要素 (Exchange Powershell コマンドレットなど) が予期したとおりに動作しないか、失敗することがあります。

オペレーションおよびフローのターゲットホストである Exchange 2013 サーバーに両方の役割 (クライアントアクセスとメールボックス) がインストールされている場合、この問題は発生しません。

Exchange - 添付ファイル付きメールの送信

「/Library/Operations/Exchange/Emails/Send Email」オペレーションは、添付ファイル付きの電子メールを送信できません。

Microsoft Exchange 2010 および 2013 で「Move Mailbox」が有効な入力に対して失敗する

このオペレーションを有効な入力で行ったときに、Microsoft Exchange Server 上でメールボックスに対する過去の既存の移動要求が存在しないと、オペレーションは移動するメールボックスのユーザー ID が見つからないというメッセージを出して失敗します。

